



2012年9月21日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

■今夏の節電結果

**関西電力管内で一昨年比33.6%削減を達成**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、政府による節電要請期間である2012年7月2日～9月7日の間<sup>\*1</sup>、全ての電力会社管内における主な施設において、社内目標（関西電力管内は30%の節電<sup>\*2</sup>、その他の電力会社管内は政府要請値+5%の節電<sup>\*2</sup>）を達成し、一昨年比21.1%の削減を行いました。

また、特に深刻な電力不足が懸念されていた関西電力管内には、重点的にリチウムイオン蓄電池を646台導入し、政府の節電要請値である一昨年比10%を大きく上回る33.6%の削減を達成しました。

<事務所の取り組み>

今夏の電力不足における節電対策の取り組みとして、2012年4月より順次、全国の大和ハウスグループの事務所等（約200事業所）にエリーパワー株式会社（本社：東京都品川区、社長：吉田博一）製の可搬型リチウムイオン蓄電池（「パワーイレ：2kWh/台」）を2MWh分（1,000台）導入し、ピークシフト<sup>\*3</sup>を実施した結果、約5%のピークカット<sup>\*4</sup>を実現しました。

また、「タスク・アンビエント照明」<sup>\*5</sup>として全国の事業所の従業員に約12,000台のLED照明スタンドを配布し、天井照明の間引きによりアンビエント照明の照度を抑制。自然光の入る日中は、業務に支障のない範囲で天井照明を消灯しました。

あわせて、昨年に引き続き、例年6月1日からのクールビズを1ヶ月前倒し、5月1日から行い、空調温度を28度設定に変更しました。

さらに、昨年より全国の事務所で行っている「デマンドの見える化」などの結果、事務所全体では32.4%（関西電力管内で37.3%）の削減を達成しました。

<工場の取り組み>

工場については、省エネ推進事業場（九州工場）で実施した省エネ改善を全工場に展開し、工場の天井照明を高効率反射板システム「レフボファクトリー」に更新するなど設備面での改善を行いました。

また、全国の工場で「デマンドの見える化」を実施し、奈良工場に自家発電機の導入、一部工場にエンジンコンプレッサーの導入などのピークカット対策を行った結果、工場全体で15.5%（関西電力管内で31.7%）の削減を達成しました。

#### ＜ショッピングセンターの取り組み＞

ショッピングセンターについては、「イーアス札幌」「イーアスつくば」「フォレオ大津一里山」「りんくうプレジャータウンシークル」で共用部照明をLED照明にしました。

また、各施設において、共用部の各設備の運転効率化や一部停止、空調温度の28度設定の徹底、テナント専有部への節電協力要請の実施などの対策の結果、ショッピングセンター全体で22.9%（関西電力管内で28.9%）の削減を達成しました。

- ※1. 北海道電力管内の節電対象期間は2012年7月23日～9月14日。
- ※2. 一昨年比。
- ※3. 電力負荷を電力需給の逼迫する時間帯（昼間）から余裕のある時間帯（夜間）に移行させること。
- ※4. ピーク時の電力使用量を減らす取り組みのこと。
- ※5. 天井照明（アンビエント照明）の照度を控えめにし、作業用照明（タスク照明）で必要な照度を確保する照明。

#### ●電力会社管内別の節電結果（一昨年比）

	政府要請値	当社目標値	節電実績		政府要請値	当社目標値	節電実績
北海道電力	▲7%	▲12%	▲18.3%	中国電力	目標なし	▲5%	▲21.6%
東北電力	目標なし	▲5%	▲16.6%	四国電力	▲5%	▲10%	▲27.6%
東京電力	目標なし	▲5%	▲20.6%	九州電力	▲10%	▲15%	▲22.4%
北陸電力	目標なし	▲5%	▲17.2%	沖縄電力	目標なし	▲5%	▲15.0%
中部電力	目標なし	▲5%	▲21.3%				
関西電力	▲10%	▲30%	▲33.6%	合計	—	—	▲21.1%

※対象期間：2012年7月2日～9月7日（北海道電力管内は2012年7月23日～9月14日）



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先			
広報企画室	広報グループ	06	(6342) 1381
	東京広報グループ	03	(5214) 2112

